



平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 東洋水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小畑 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 椿 博成

TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	283,740	10.0	24,603	6.4	25,970	5.1	19,341	33.5
25年3月期第3四半期	257,894	7.6	23,117	18.4	24,699	20.9	14,489	31.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 28,082百万円 (59.3%) 25年3月期第3四半期 17,623百万円 (96.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	189.35	
25年3月期第3四半期	141.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	309,616	235,615	71.7
25年3月期	274,889	209,172	72.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 221,958百万円 25年3月期 198,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		20.00		30.00	50.00
26年3月期		25.00			
26年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	7.4	31,000	4.6	32,000	0.0	20,000	15.7	195.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	110,881,044 株	25年3月期	110,881,044 株
26年3月期3Q	8,742,431 株	25年3月期	8,724,975 株
26年3月期3Q	102,146,316 株	25年3月期3Q	102,161,600 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により国内景気は回復の兆しがみえるようになりました。しかしながら、海外景気の下振れや消費税率引き上げに伴う駆け込み需要及びその反動が見込まれるなど、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は283,740百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は24,603百万円（前年同四半期比6.4%増）、経常利益は25,970百万円（前年同四半期比5.1%増）、四半期純利益は19,341百万円（前年同四半期比33.5%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の為替換算レートは、105.37円/米ドル（前第3四半期連結累計期間は、86.56円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、鮭鱒・魚卵・マグロ・凍魚の主力商品と年末商材の数の子・カニ・ロブスター等を中心に積極的に販売を行いました。しかしながら、国内においては、イカ・サバ・サンマを中心とした漁獲不振により前浜事業の収益を押し下げました。また、円安や海外の鮭鱒・魚卵・海老等の漁獲不振により原材料価格が上昇し、コスト上昇分の販売価格への転嫁が進みませんでした。その結果、売上高は25,325百万円（前年同四半期比0.6%増）、セグメント利益は18百万円（前年同四半期比91.3%減）となりました。

海外即席麺事業は、大手量販店との連携強化や、主力製品及び新カテゴリーのヤキソバ、ボウルの積極的な販売活動により、主に中米・南米を中心に販売数量が堅調に推移したこと及び前期と比較した円安の影響により売上高は57,272百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。セグメント利益は、新カテゴリー導入と積極的な販促活動により販売促進費が増加しましたが、円安の影響により10,098百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

国内即席麺事業は、袋麺は、10月に「マルちゃん正麺うどん」「マルちゃん正麺カレーうどん」を同時発売した効果もあり、引き続き順調に売上を伸ばしました。また、マルちゃん正麺は、平成23年11月からの累計出荷数が6億食を超え、順調に推移しております。カップ麺では、基幹商品である「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」を含む和風麺シリーズは、アイドルを起用したCMやイベント実施等の販促活動に取組んだ結果、売上は堅調に推移しました。また、ノンフライカップ麺の「麺づくり」も9月のリニューアルや消費者キャンペーンの効果等で好調に伸張したこともあり、カップ麺全体でも堅調な推移となりました。その結果、売上高は94,961百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益は9,740百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

低温食品事業は、生麺は市場環境が厳しい中、主力品の焼そば類は前年並みの推移となりましたが、3玉うどん類は価格競争激化等により前年を下回りました。しかしながら、春先に発売した「ナポリタンスパゲッティ3人前」等が順調に推移し、生麺全体では前年を上回る結果となりました。冷凍食品類では、市販用が引き続き厳しい状況でしたが、業務用は冷凍麺の販売強化や外食惣菜ルートへの販路開拓により、堅調に推移しました。これらの結果、売上高は48,456百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。セグメント利益は、円安による為替の変動や販売促進費の増加により2,640百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

加工食品事業は、米飯製品とフリーズドライは、積極的に販売活動を行い増収となりました。魚肉ハムソーセイジは、売上数量は増加しましたが卸売価格を下げたことで減収となりました。調味料は、だしの素等の市場が縮小しており減収となりました。その結果、売上高は13,699百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。上期に高騰した原料米、かつお節等の価格は安定してきており、セグメント利益は144百万円（前年同四半期比157.7%増）となりました。

冷蔵事業は、円安や原材料価格の上昇で輸入原料が低調な荷動きだったため、保管在庫量が減少する等の影響がありました。冷凍食品を中心に出入庫の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高は11,823百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。セグメント利益は、電力料金の値上げにより動力費が増加する厳しい状況でしたが、省エネ対策等を実施したことにより1,143百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は32,238百万円（前年同四半期比37.2%増）、セグメント利益は1,401百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は34,726百万円増加し、309,616百万円、純資産は26,443百万円増加し、235,615百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、建設仮勘定が増加しました。負債は、主に支払手形及び買掛金、未払費用が増加し、未払法人税等が減少しました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は71.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成25年5月15日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,496	54,094
受取手形及び売掛金	45,948	60,742
有価証券	27,501	27,001
商品及び製品	15,355	18,776
仕掛品	223	272
原材料及び貯蔵品	4,596	5,903
繰延税金資産	1,737	1,465
その他	4,010	3,640
貸倒引当金	△507	△510
流動資産合計	149,361	171,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,724	42,492
機械装置及び運搬具(純額)	24,489	23,338
土地	28,995	29,784
建設仮勘定	3,633	15,634
その他(純額)	1,419	1,485
有形固定資産合計	102,262	112,735
無形固定資産		
その他	2,349	2,414
無形固定資産合計	2,349	2,414
投資その他の資産		
投資有価証券	18,385	20,557
繰延税金資産	1,818	1,792
その他	711	731
投資その他の資産合計	20,915	23,082
固定資産合計	125,527	138,232
資産合計	274,889	309,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,711	28,435
短期借入金	212	207
1年内返済予定の長期借入金	—	105
未払費用	17,705	20,513
未払法人税等	4,108	2,822
未払事業所税	62	37
未払消費税等	554	879
繰延税金負債	3	3
役員賞与引当金	198	115
固定資産撤去費用引当金	171	15
その他	2,437	1,588
流動負債合計	47,167	54,724
固定負債		
長期借入金	—	40
繰延税金負債	1,177	1,350
退職給付引当金	16,232	16,602
役員退職慰労引当金	140	256
負ののれん	225	112
資産除去債務	309	315
その他	465	599
固定負債合計	18,550	19,276
負債合計	65,717	74,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	171,246	186,323
自己株式	△8,145	△8,200
株主資本合計	204,586	219,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,185	3,653
繰延ヘッジ損益	32	56
為替換算調整勘定	△8,120	△1,360
その他の包括利益累計額合計	△5,902	2,349
少数株主持分	10,487	13,657
純資産合計	209,172	235,615
負債純資産合計	274,889	309,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	257,894	283,740
売上原価	160,079	174,660
売上総利益	97,815	109,079
販売費及び一般管理費	74,698	84,476
営業利益	23,117	24,603
営業外収益		
受取利息	200	212
受取配当金	348	312
持分法による投資利益	6	43
賃貸収入	308	318
為替差益	367	223
雑収入	589	528
営業外収益合計	1,821	1,638
営業外費用		
支払利息	4	5
賃貸収入原価	70	75
支払補償費	4	84
雑損失	160	105
営業外費用合計	239	271
経常利益	24,699	25,970
特別利益		
固定資産売却益	14	1,850
負ののれん発生益	—	641
補助金収入	51	1,658
受取補償金	42	—
その他	4	116
特別利益合計	113	4,266
特別損失		
固定資産除売却損	515	77
投資有価証券評価損	340	8
減損損失	1	9
その他	27	10
特別損失合計	885	105
税金等調整前四半期純利益	23,927	30,130
法人税、住民税及び事業税	9,175	9,768
法人税等調整額	△105	576
法人税等合計	9,069	10,344
少数株主損益調整前四半期純利益	14,857	19,785
少数株主利益	367	444
四半期純利益	14,489	19,341

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,857	19,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281	1,495
繰延ヘッジ損益	155	23
為替換算調整勘定	2,325	6,759
持分法適用会社に対する持分相当額	4	18
その他の包括利益合計	2,766	8,297
四半期包括利益	17,623	28,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,252	27,591
少数株主に係る四半期包括利益	371	491

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	25,186	48,363	88,476	47,460	13,436	11,491	234,415	23,500	257,915	△21	257,894
セグメント間の内部 売上高又は振替高	596	—	19	—	0	703	1,318	423	1,742	△1,742	—
計	25,782	48,363	88,495	47,460	13,436	12,195	235,734	23,924	259,658	△1,763	257,894
セグメント利益	209	9,193	9,586	2,831	56	1,002	22,879	1,328	24,208	△1,090	23,117

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△21百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額△1,090百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△942百万円、棚卸資産の調整額△31百万円及びその他の調整額△116百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	25,325	57,272	94,961	48,456	13,699	11,823	251,539	32,238	283,777	△36	283,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	603	—	16	—	0	688	1,309	386	1,695	△1,695	—
計	25,928	57,272	94,978	48,456	13,699	12,512	252,848	32,624	285,473	△1,732	283,740
セグメント利益	18	10,098	9,740	2,640	144	1,143	23,785	1,401	25,186	△583	24,603

- (注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。
- 2 外部顧客への売上高の調整額△36百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額△583百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円、棚卸資産の調整額△24百万円及びその他の調整額70百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。